



# 楽々亭通信

第29号  
令和5年3月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

## 2月の楽々亭は

### 休会といたしました

本願寺派布教使

安堂芳雅



も、凍りつきます。

先日、「春隣り」という言葉  
を教えてもらいました。  
皆さんのお手元にこの  
通信が届くのは「桃の節  
句」の頃でしょう。いよいよ  
「春」ですね。

最初に、二月の「楽々亭」  
にお越し下さった方々、本  
当に申し訳ありませんで  
した。

人生で二度目の落席で  
す。

一度目は、午前に変更に  
なった月忌参りをすつか  
り忘れ、朝のうちに食材の  
買い出しを、と向かったス  
ーパーで携帯電話がなり  
ました。その発信元を見  
て、「あー」、今思い出して

そして二度目が、先月の  
楽々亭です。こちらは「失  
念」ではなく、「全くの思い  
込み」でした。研修会が終  
了し携帯電話を見ると、驚  
くほどの着信です。が、折  
り返し電話をするまで、ま  
さか・・・、皆さんが待  
って下さっているとは、思  
いもありませんでした。それ  
どころか、事情を伺って  
も、すぐに自分の過ちだと  
思えず、「そんなことはな  
いだろう」とさえ思ったの  
です。

「思い込み」の恐ろしさ  
に、愕然としています。

意識する、しないにかか  
わらず、「思い込み」の裏に  
は、必ず「私が正しい」と  
いう驕慢心があります。

「驕慢心」、画数の多い  
字ですが、私たちが抱え  
ている煩惱で、簡単に言  
うと、人を侮り、驕り高  
ぶる心です。ですから、

あなど おご

「もしかして？」と疑う  
ことも、「これでよかった  
のか？」と、考えることも  
ありません。

私の一日を考えてみる  
と、この、「私が正しい」

「私は間違っていない」  
の驕慢の座布団の上に胡  
坐をかいて暮していま

す。また、そのようなあり  
方でしか生きる事ができ  
ない自身を「悲しむ」どこ  
ろか、「だって、それでも」

と更に「正当化」して、「私  
が正しい」を振りかざし  
ていきます。

これが「正しさ」だと掴ん  
で進む道は、本当に危な  
いものです。

「一」に「止」と書いて、  
「正しい」です。「本当に  
これでいいのか？」

「驕り」ではないだろ

うか、「慢心」ではないだ  
ろうか、と自分のすがたを  
確認することを大事にし  
たいものです。そうする  
と、きつと「お恥ずかしい  
お互いですね」といった、  
緩やかで、あたたかな世界  
が開かれてくるでしょう。

吉野弘さんの詩をご紹  
介して終わります。

### 「祝 婚 歌」

二人が睦まじくいるため  
には

愚かであるほうがいい  
立派すぎないほうがいい

立派すぎることは  
長持ちしないことだと気  
付いているほうがいい

完璧をめざさないほうが  
いい

完璧なんて不自然なこと  
だと

うそぶいているほうがい  
い

二人のうちどちらかが  
ふざけているほうがいい

ずつこけているほうがい  
い

互いに非難することがあ  
っても

非難できる資格が自分に  
あったかどうか

あとで  
疑わしくなるほうがいい

正しいことを言うときは  
少しひかえめにするほう  
がいい

正しいことを言うときは  
相手を傷つけやすいもの  
だと

気付いているほうがいい  
立派でありたいとか

正しくありたいとかいう  
無理な緊張には

色目を使わず  
ゆつたり ゆたかに

光を浴びているほうがい  
い

健康で 風に吹かれなが  
ら

生きていくことのなつか  
しさに

ふと 胸が熱くなる

そんな日があってもいい  
そして

なぜ胸が熱くなるのか  
黙っていても

二人にはわかるのであつてほし  
い

時間が無いから何もできな  
いは嘘

病床でこれを書いていきます。

肺癌だそうです。私が癌になる  
なんて思いもしなかったです  
ね。何が起るかこの世は凡夫  
の私にとって不思議だらけで  
す。改めて自分の身体について  
考えさせられました。術後が胸  
が痛いので困っています。先  
生は時間が解決するからと呑気  
な事を言っています、痛いの  
に……

勉強をしたらしたのは高校から  
です。仏教に触れ本を読むよう  
になって勉強の面白さを初めて  
知り夢中で勉強しました。時間  
がない事は私には理由になりま  
せんでした。アルバイトのちよ  
っとした空き時間も本を読むよ  
うな子にいつの間にかなくなっ  
ていきました。世界史など面白くて図

書館から参考書を何冊も借りて  
きて読み、先生より詳しくなっ  
たことを思い出します。

しかし積み上げるような科  
目、例えば数学や英語はダメで  
したね。何回か挑戦しても覚え  
られないのです。大変後悔しま  
した。小学、中学でもっと勉強し  
ておけば良かったと後悔先に立  
たずですね。人間は時間が無い  
方がよりアクティブに動く動物  
なのかも知れませんね。昼間は  
目一杯働いて、夜学校では勉強  
に夢中になり、部活ではバレー  
ボール部のキャプテンをして、  
音楽部では合唱のタクトを振  
り、5〜6人で宗教研究会を作  
り、自分たちの考えを書いて、そ  
れを本にして仲間に100円で  
売っていました。

お金の足りない分は学校の近  
くの商店に広告をお願いして賄  
いました。今考えてもよくそん  
な時間があったのかと思います  
があったのです。絞り出して  
いたのです。成績も殆ど通信  
簿は4か5ばかりになっていま  
した。4年になり将来は大学か  
就職かを選ばなければならなく

なったとき先生は大学を推薦し  
たくれましたが、私には経済的に  
とても無理な事は分かっています  
した。

又国立は5教科7科目の受験  
ですから私には数学、化学で受か  
らない事はわかっていましたの  
で、私立の3教科(英語、国語、  
社会)の受験科目の学校なら受か  
る自信はありましたが、入学金、  
授業料がはらえませんでした。い  
れにしても大学は諦めています  
た。かと言ってどこに就職するの  
かも決めていなかった2月頃、仏  
教青年会の先輩から、福岡でお金  
を出してくれる人がいるから弘  
さん大学に行ってみないかと言  
って頂いて私は母を京都に置き  
て単身福岡に行く事を決めまし  
た。

大学はもう締め切りが過ぎた  
ところが多くてその時期まだ受  
験できるのは、福岡大学と西南大  
学だけでしたので、福岡大学を受  
験しました。幸に受かり私は大学  
の寮に入り、お金を出してください  
ましたお宅の仕事(印刷業)を手伝  
いながら通学すると言う生活が  
スタートしました。

福岡でも時間があつた訳で  
はありませんでした。昼間は学  
校、夕方から仕事の手伝い、夜  
は家庭教師のアルバイト。日曜  
日にはお寺で念仏会と忙しい  
日々を送っていましたから、  
「時間が無いから何も出来な  
い」は嘘で自分に対する言い訳  
だと後に知りました。(次回に  
続く)

病床の窓から見る雨模様  
手術前の我が心なりしか

お国なまりふと温まる あ  
の女の 手術前の寒き病室

こんな女が いれば良いな  
と裏切られ 当たり前かと術  
前の床

籠谷 弘

### 楽々亭 3月の予定

3月の楽々亭は休会  
とさせていただきます。

開催を楽しみにされて  
いた方々には申し訳あ  
りません。

### 楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都  
住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701  
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328  
MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。